

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法
- (2) 消費税等の会計処理
税込み処理

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	前期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000
小 計	1,000,000	0	0	1,000,000
特定資産				
普通預金	20,780	207,013,228	207,017,000	17,008
基金積立資産	1,334,508,121	1,907,402,934	2,802,517,000	439,394,055
長期貸付金	12,697,379,698	1,300,000,000	1,449,615,082	12,547,764,616
小 計	14,031,908,599	3,414,416,162	4,459,149,082	12,987,175,679
合 計	14,032,908,599	3,414,416,162	4,459,149,082	12,988,175,679

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対す る額)
基本財産				
定期預金	1,000,000	(1,000,000)	-	-
小 計	1,000,000	(1,000,000)	-	-
特定資産				
普通預金	17,008	-	(17,008)	-
基金積立資産	439,394,055	(105,932,585)	(333,461,470)	-
長期貸付金	12,547,764,616	(12,247,764,616)	-	(300,000,000)
小 計	12,987,175,679	(12,353,697,201)	(333,478,478)	(300,000,000)
合 計	12,988,175,679	(12,354,697,201)	(333,478,478)	(300,000,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
テレビ	594,300	594,300	0
パーソナルコンピュータ	406,000	406,000	0
書架等	2,309,338	2,309,338	0
ハイカウンター等	1,136,625	1,136,625	0
耐火金庫	388,500	123,838	264,662
財務会計システム	498,000	498,000	0
合 計	5,332,763	5,068,101	264,662

5 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
全国協会納付金計上による振替額	53,351,603
市町村振興助成金計上による振替額	350,000,000
災害対策支援金計上による振替額	808,952,000
合 計	1,212,303,603

6 重要な後発事象

特になし。

7 その他

特になし。

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未払金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
普 通 預 金	4,842,423	12,341,376
普通預金(オータム分)	20,780	17,008
合 計	4,863,203	12,358,384
未 払 金	464,371	326,528
預 り 金	99,884	86,381
合 計	564,255	412,909
次 期 繰 越 収 支 差 額	4,298,948	11,945,475